令和05年度日進市事務事業評価シート

大事業名		環境基本計画推進事業				コード	03160100-0201
中事業名		環境基本計画推進事業				計画区分	①③
担当部等		生活安全部		担当課等		環境課	
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	16	環境負荷の少ない地域社会の形成		款	04	衛生費
	主要施策	01	環境意識の向上		項	01	保健衛生費
					目	05	環境衛生費
					大	02	環境基本計画推進事業
					中	01	環境基本計画推進事業
根拠法令・条例等		環境基本法、地球温暖化対策の推進に関する法律、環境まちづくり基本条例					
基本計画等		日進市環境基本計画、日進市地球温暖化対策実行計画					

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	市民向け環境教育講座、一般家庭の省エネ・創エネ・蓄エネの推進を目的とした地球温暖化対策機器設置費補助事業、次世代自動車の普及を推進する次世代自動車購入費補助事業等を実施する。
対象	市民・事業者
意図（目的）	環境まちづくり基本条例、環境基本計画、地球温暖化対策実行計画の理念や施策を着実に推進することにより、本市の持続可能な発展を目指す。
手段	環境教育講座の実施、環境まちづくりサポーターズポイント制度の実施、地球温暖化対策機器設置費補助事業や次世代自動車購入費補助事業の実施

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額
			18,352	16,802	18,746	14,440	20,919	84,438	18,423
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	52,000	0
		県支出金	3,000	2,802	3,000	2,133	3,000	2,754	2,887
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1	0	1	12	701	600	1
	一般財源		15,351	14,000	15,745	12,295	17,218	29,084	15,535
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.00 人		2.15 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		14,029.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				16,802		14,440		98,467	0

令和05年度日進市事務事業評価シート

○令和 5年度に記載した具体的な改善内容

令和 5年度に実施する具体的な改善内容	
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	

令和 5年度に取り組んだこと	環境共育講座であるにっしんＥＳＤ事業によりＥＳＤの普及啓発に努めた。地球温暖化対策では、にっしん省エネ倶楽部事業、地球温暖化対策機器設置費補助事業、次世代自動車設置費補助事業を実施するとともに、令和６年度から開始する第２次環境基本計画を策定した。

成果	多くの市民に対してＥＳＤ講座を実施できた。地球温暖化対策として、にっしん省エネ倶楽部事業による普及啓発を進めることができた。また、地球温暖化対策機器設置費補助事業・次世代自動車購入費補助事業などにより再エネ・省エネを推進し、温室効果ガス排出削減を行った。第２次環境基本計画を策定し、新たな環境方針・取組事項を定めた。
課題	環境共育を継続実施することにより、ＥＳＤの普及啓発をさらに推進させる必要がある。地球温暖化対策機器設置費補助事業、次世代自動車購入費補助事業その他全庁的な取組による地球温暖化対策を推進していく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	Ｂ	現状のまま継続	前年度評価結果	
評価の理由	環境共育講座の実施により普及啓発を進めることができた。地球温暖化対策として、にっしん省エネ倶楽部事業による普及啓発、地球温暖化治作機器設置費補助事業による再エネ・省エネの推進、次世代自動車購入費補助事業による自動車からの温室効果ガス排出量削減を進めることができた。第２次環境基本計画を策定し、新たな環境方針・取組事項を定めることができた。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 6年度に実施する具体的な改善内容		従来からの環境共育講座、地球温暖化対策関係補助事業に加え、事業者と連携した取組を進めることにより、第２次環境基本計画に掲げた脱炭素社会づくり、自然共生社会づくりなどを総合的に推進する。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		従来からの市民団体との協働に加えて事業者との連携による事業を増やすことでマルチステークホルダーによる第２次環境基本計画の推進を図る。			

【アウトプット指標】

指標名	ＥＳＤ講座参加者数					単位	人
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	1,500.00	1,752.00	1,500.00	1,534.00	1,500.00	1,510.00	1,500.00

【アウトカム指標】

指標名	環境を意識した行動に取り組んでいる市民の割合					単位	%
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	46.64	46.30	46.98	57.40	47.32	57.40	47.66
式	日進市市民意識調査						
指標の狙い	ＳＤＧｓ・ＥＳＤ推進の取組により、環境を意識した行動ができる人づくりにつなげる。						

令和05年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標２】

指標名	地球温暖化対策機器の補助件数					単位	件
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	135.00	159.00	179.00	162.00	168.00	154.00	197.00

【アウトプット指標３】

指標名	環境まちづくりサポーターズ事業会員登録件数（個人+団体）					単位	件
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	2,415.00	2,338.00	2,388.00	2,412.00	2,462.00	2,489.00	2,539.00

【アウトカム指標２】

指標名	温室効果ガスの削減（ＣＯＯＬ　ＣＨＯＩＣＥなど）を意識している市民の割合					単位	%
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	43.94	43.30	44.58	53.30	45.22	53.30	45.86
式	日進市市民意識調査						
指標の狙い	ＥＳＤ講座やＣＯＯＬ　ＣＨＯＩＣＥに係る事業の実施により、温室効果ガス削減に向けて意識して取り組む人の増加を図る。						

【アウトカム指標３】

指標名	地球温暖化対策機器導入による年間ＣＯ2削減量					単位	t-C02
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	143.00	144.00	192.00	136.00	144.00	145.00	184.00
式	各機器１基あたりのＣＯ2削減量（年間）×補助件数						
指標の狙い	地球温暖化対策機器導入により温室効果ガスの削減を図る。						

令和05年度日進市事務事業評価シート

大事業名	し尿収集・処理事業				コード	03160300-0101	
中事業名	し尿収集・処理事業				計画区分	①	
担当部等	生活安全部		担当課等	環境課			
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	16	環境負荷の少ない地域社会の形成		款	04	衛生費
	主要施策	03	地域の生活環境の向上		項	02	清掃費
					目	03	し尿処理費
					大	01	し尿収集・処理事業
					中	01	し尿収集・処理事業
根拠法令・条例等	浄化槽法						
基本計画等	日進市一般廃棄物処理基本計画						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	事業者に委託することで、し尿くみ取り世帯や工事現場などから出るし尿を収集運搬処理する。
対象	市民・事業者
意図（目的）	事業者に委託することで、し尿くみ取り世帯や工事現場などから出るし尿を収集運搬処理する。
手段	し尿くみ取り事業者への委託及び収集運搬処理の実施

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額
			11,939	7,673	225,823	206,242	283,175	232,334	241,136
財源内訳	特定財源	国庫支出金	911	276	911	0	911	0	5,050
		県支出金	546	248	546	109	546	0	2,870
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	3,871	2,983	113,793	102,015	125,795	117,678	109,744
	一般財源		6,611	4,166	110,573	104,118	155,923	114,656	123,472
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.40 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		2,610.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.04 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				7,673		206,242		234,944	0

令和05年度日進市事務事業評価シート

○令和 5年度に記載した具体的な改善内容

令和 5年度に実施する具体的な改善内容	
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	

令和 5年度に取り組んだこと	し尿汲み取り事業者への委託及び収集運搬処理を実施した。また、大型合併処理浄化槽設置整備事業について地域住民や自治会との協議を実施した。
成果	し尿処理を適切に実施した。また、大型合併処理浄化槽設置整備事業について、藤島台自治会と協議を重ね令和５年度内に既存の単独型集中浄化槽から転換する予定をしていたが、自治会からの要望により各戸への合併処理浄化槽設置へ見直す結果に至った。
課題	合併処理浄化槽へ転換を行う場合の補助金利用件数が少ないことが課題である。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	
評価の理由	し尿処理については公衆衛生上必要なので、現状のまま維持と考える。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 6年度に実施する具体的な改善内容		し尿汲み取り手数料の口座引き落としを勧めるなど、期日通りの納入をしていただけるよう取り組んでいく。合併処理浄化槽の普及と適正管理について、広報や回覧等にて市民に積極的に周知していく。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		水環境の保全には個人や地域の生活排水対策が必要であることから、実践活動普及及び定着化に取り組んでいく。			

【アウトプット指標】

指標名	し尿くみ取り世帯数					単位	世帯
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	61.00	64.00	58.00	70.00	58.00	68.00	58.00

【アウトカム指標】

指標名	一世帯あたりのし尿処理コスト					単位	千円
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	110.00	119.90	117.73	89.30	117.30	93.80	117.30
式	し尿収集・処理事業費／し尿くみ取り世帯数						
指標の狙い	し尿くみ取り世帯の一世帯あたりの費用をコスト指標にすることで、事業の効率化を図る。						

令和05年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標２】

指標名	市内の単独処理浄化槽の基数					単位	基
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	2,900.00	2,933.00	2,900.00	2,916.00	2,900.00	2,913.00	2,900.00

【アウトプット指標３】

指標名	合併処理浄化槽補助金交付件数					単位	件
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	7.00	3.00	7.00	11.00	7.00	0.00	25.00

令和05年度日進市事務事業評価シート

大事業名		ごみ・資源収集処理事業				コード	03170100-0101
中事業名		ごみ・資源収集処理事業				計画区分	①③
担当部等		生活安全部		担当課等		環境課	
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	17	ごみの適正処理と再資源化の推進		款	04	衛生費
	主要施策	01	ごみ減量化の推進		項	02	清掃費
					目	02	塵芥処理費
					大	01	ごみ・資源収集処理事業
					中	01	ごみ・資源収集処理事業
根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
基本計画等		日進市一般廃棄物処理基本計画					

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	①廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、集積所・資源回収拠点等に出されたごみや資源の収集・処理を行う。②現計画の対象年度は、平成２４年度から令和８年度までの１５年間で、概ね５年ごとに見直すこととしている。
対象	市民
意図（目的）	①家庭から出されるごみや資源を適正に処理し、資源化やコスト削減を図る。②現計画の対象年度は、平成２４年度から令和８年度までの１５年間で、概ね５年ごとに見直すこととしている。
手段	周知・啓発の実施

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額
			886,233	869,732	886,664	863,447	1,245,158	1,193,927	1,096,335
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	28,528	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	113,036	121,420	117,363	127,840	130,549	120,649	106,196
	一般財源		773,197	748,312	769,301	735,607	1,114,609	1,044,750	990,139
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.00 人		1.05 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		6,851.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.72 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				869,732		863,447		1,200,778	0

令和05年度日進市事務事業評価シート

○令和 5年度に記載した具体的な改善内容

令和 5年度に実施する具体的な改善内容	
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	

令和 5年度に取り組んだこと	デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、粗大ごみのオンライン受付を実施した。また、電話や窓口での問い合わせに対しても丁寧な説明に努め、その浸透を図った。

成果	粗大ごみのオンライン受付を実施することによる市民からの問い合わせが減少し、市民の利便性向上が図られた。
課題	マイナンバー連携による粗大ごみのオンライン受付に対する機能拡充が課題である。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	
評価の理由	資源回収量は微減となっているものの、リサイクル率は県内でも上位を保っており、現在の取組が市民のリサイクルへの高い関心へと繋がっていると考えられるため。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 6年度に実施する具体的な改善内容		正しく分別することで資源化が促進されるため、今後も市民への丁寧な説明に努め、資源化への理解を促す。また、令和６年４月から資源プラスチックの一括回収を実施し、より一層の資源化を推進していく。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		製品プラスチックの回収量増加及び紙類のリサイクル等、新たな品目についても検討する。			

【アウトプット指標】

指標名	資源ごみ回収量（エコドーム分除く）					単位	t
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	5,400.00	4,616.00	5,400.00	4,269.00	5,400.00	3,959.00	5,400.00

【アウトカム指標】

指標名	１人あたりのごみ・資源処理費用					単位	千円
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	9.22	9.35	9.24	9.22	9.24	12.72	9.24
式	総事業費／人口						
指標の狙い	資源やごみの収集・処理の費用を下げることが、効率的な資源ごみの処理に繋がる。						